

つくば常民大学3月(第42回)

講師：中島紀一氏（茨城大学名誉教授・八郷かや屋根・みんなの広場）

題目：「“みどり”と“いのち”の農業原論
—農とはあまり係わりのなかった方々へ—」

日時：2025年3月27日（木）午後1時～3時半

場所：つくば市二の宮交流センター
※ 参加自由・要資料代

去年は猛暑の夏でした その頃から米流通の大混乱が続いています
みなさんの食卓はどんなご様子ですか 食はちゃんと農と繋がっていますか
「まほろば」「みずほ」とされてきた日本の農はどこに向かうのでしょうか
今回の常民大学は、お隣の農の里「やさと」からの夢のようなお話です

作物は「育てる」のか 作物は「育つ」のか
作物の育ちは「栄養」によるのか 「いのち」によるのか
農にはもともと「いのちの力」「いのちのプログラム」が備わっている
「まほろば」というあり方は、縄文と弥生の重なりあいのなかから2000年
ほど前に作られました
そこには誰もが係る普遍や永遠があった筈ですが
農の歩みは「進歩」「発展」なのか……

近著『“みどり”と“いのち”の農業原論
— 農とはあまり係わりのなかった方々へ』（筑波書房 2025. 2. 20 刊）
や石岡市やまだ農園の活動を紹介しながら話しを進めます。



集めた落ち葉の小山で



味噌豆を大釜で煮る
（石岡市やまだ農園 山田晃太郎さん撮影）